

生徒の意見を聞きながら講演を進める服部さん(守口市で)



# 無償医療活動喜び語る

## 「ベトナムの赤ひげ先生」服部さん 守口で講演

ベトナムなどで無償の医療活動を続け、「ベトナムの赤ひげ先生」と呼ばれる眼科医・服部匡志さん(55)が31日、守口市内で講演し、大阪国際滝井高、大阪国際大和田高の生徒ら約700人が聞き入った。

服部さんは2002年から、現地で白内障の手術や眼科医の人材育成などに取り組み。両高の生徒が服部さんに同行して活動を手伝っている縁から、今回の講演会開催となった。

服部さんは講演で、高校生の頃、ガンの闘病を続ける父の痛みを和らげてほしいと担当医に掛け合い、その後「もうすぐ死ぬのに」と言っている

のを偶然聞いた時の悔しさから医師を志したと説明。4年間の浪人生活を経て、大学医学部に合格したという。

当初は3か月のつもり

だったという無償の医療活動は「患者を『助けた』と思う限り続く」とし、「手術後の患者がニコツと笑う姿を見ることが、かけがえのない喜び」と述べた。

看護師を目指しているという大阪国際滝井高1年の水口萌香さん(16)は「夢に向かって頑張ろうと思いましたが」と話していた。